

あゆみのあゆみ

誰かの政治から
わたしたちの政治へ

編集・発行：太田あゆみ

〒760-0068 高松市松島町2丁目4-12

☎ 087-862-7227 📠 080-6398-4607 ✉ mm_ayumitai@outlook.jp

第20歩



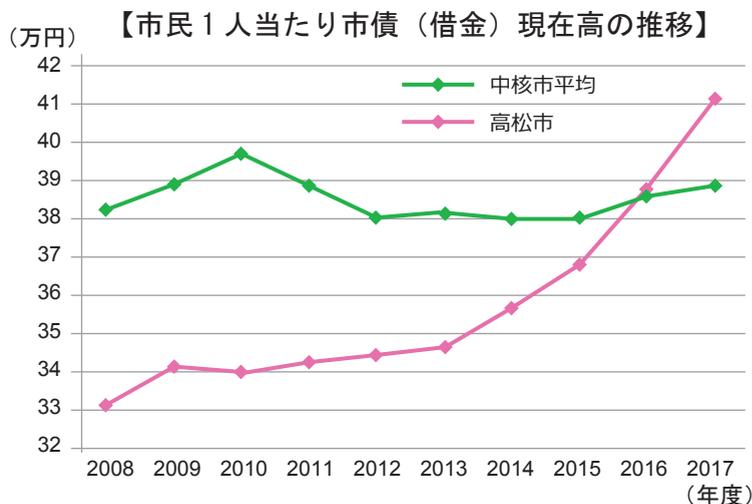
来年度、高松市は99億円も財源が足りない！ …でも、市長・議員のボーナスはアップ！

「高松市の財政って豊かなの？」と聞かれることがよくあります。答えは、「NO」です。下のグラフは、高松市民ひとりあたりの市債（借金）の状況と、基金（貯金）の残高を示しています。

ここ数年、防災合同庁舎（市役所隣・約100億円）、屋島レグザムフィールド（約67億円）、ヨット競技場（約8億円）など大規模工事が続いたことや、屋島ドライブウェイを約8億円で市が民間会社から買い取るなど、高松市の蓄えは急激に減っています。

10月に示された「中期財政収支見通し」では、来年度99億円もの財源が不足する見込みであることが明らかに。

…しかし、12月定例会で、**市長や議員の期末手当（ボーナス）引き上げが、賛成多数で可決されました。** 厳しい財政状況の中、一番に切り詰めるべきところではないでしょうか。また、市立病院の移転による経費増大で昨年1月から病院局の職員給与をカットしている中、病院事業管理者の期末手当も増額です。わたしはこの議案に反対し、増額分の期末手当は受け取りを拒否（法務局に供託）しています。



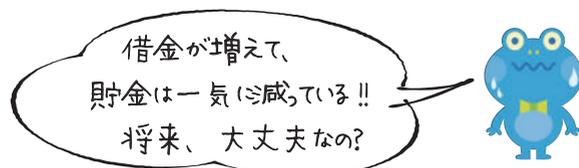
ご存じですか？期末手当（ボーナス）の年間支給額

※〈〉の中は今回の条例改正による増額分

- 市長 6月期 209万7,900円 + 12月期 229万7,700円 + 〈66,600円〉
= 年額 446万2,200円
- 病院事業管理者 6月期 216万7,830円 + 12月期 237万4,290円 + 〈68,820円〉
= 年額 434万0,670円
- 議員 6月期 114万9,120円 + 12月期 125万8,560円 + 〈36,480円〉
= 年額 244万4,160円 × 40名 ※増額は5年連続！

また、11月の「高松市議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会」では、松山、高知、徳島は市長の給与等について、現在減額をおこなっていることが取り上げられ、その理由は「財政状況の悪化」と説明されました。

12月定例会での市長答弁でも「本市財政は、非常に厳しい状況にある」としながらも、5年連続のボーナス増額。皆さんは、この矛盾をどう思いますか？



なんでもかんでも可決してきた議会の責任も重いよね…。

2017年度決算に対する討論をおこないました

決算＝政策の事後評価。使い方が適切であったか、どのような効果があったかなどの議論が必要ですが、高松市議会の決算審査特別委員会は3人以上の会派に所属している人しか入ることができず、市民の皆さんの意見が届きにくい現状になっています。

議員特権の議会費に反対

■費用弁償（議会出席手当）

2017年度から、1日3,000円（2016年度まで6,000～6,500円）にまで引き下げられたものの、金額の根拠はなく、全国的にみても多くの議会で廃止や、実費支給となっています。**費用弁償は廃止すべき。**

■人間ドック助成費

法的根拠とならない内規で定めて支出しており、国保での助成にさらに上乗せして助成が出るのは、明らかな議員特権。

■市議会特別番組

3人以上の交渉会派の会長のみの出演で、市の政策をかわるがわるアピールしているだけで、議会としての役割を果たしているとは思えません。さらに、一部の会派の議員しか出演しないということは、放送法第4条第2項「政治的に公平であること」に抵触するおそれもあります。



活動実績のない消防団員への報酬に反対

「2015～16年度、火災出動や訓練の活動実績がないのに報酬が支給された消防団員が、34市で1,548人いた」との記事が毎日新聞に掲載されました。

この記事をもとに、消防局に情報公開請求をおこなったところ、高松市の消防団員の実員は1,552名。うち、訓練や活動に参加していない団員は、2015年度4名、2016年度32名、そして昨年度は56名であることが明らかに。

報酬は高松市消防団条例で定められています。年額、団長：151,900円、団員：32,400円で、全分団員からの委任状を受け、消防団長口座に振り込まれています。その後、団長口座から各分団、もしくは分団長名義の口座に振り込まれていますが、活動実績のない団員に報酬が渡ったかどうか、**市は確認できていない**ということもわかりました。

しかし、全分団員からの委任状を取っているということを考えれば、想定されるのは、活動実績がないが報酬を受け取った、又は活動実績のない団員には報酬を渡さず、分団で停まっている、のどちらかしかありません。いずれにしても、行政はまず、消防団と対等の関係を築き、**実態を把握すべき**と考えます。

生活困窮者によりそう仕組み – 滋賀県野洲市の事例 –



11月、近畿弁護士会連合会主催のシンポジウム「自治体は生活困窮者を救えているか ～機関連携の現状と課題～」に参加しました。（※政務活動費使用）

シンポジウムの中で、滋賀県野洲市の取り組みが紹介されました。野洲市では、税（市民税、国保料、市営住宅使用料、保育料、給食代…等）の滞納を、「生活に困っているシグナル」と受け止めて、全庁的（27の課と支援センター）に生活支援体制を整え、生活困窮者を支えていく仕組みができています。

ひとつの税の滞納から、他の税はどうか、何か困っていることはないか、徹底して寄り添い相談に乗る、解決方法を探る。この流れができているのは、市長の強い決意があつてのことだと思います。

もちろん、規模が小さい市（人口約5万人）だからできることもありますが、ひとりを大切にすることや、強制徴収から相談への移行は都市規模に関係なく、すぐに実践できることです。高松市議会12月定例会には、市民税の納付コールセンター委託業務の予算議案が提出されていたので、議案質疑の中で、野洲市の事例を紹介しました。高松市では、コールセンターはあくまで滞納者に対して「納税を忘れていませんか？」と呼びかけるだけの業務で、徴収業務は市民税課の職員がおこなうとのことでした。

高松市でも、滞納から生活困窮者の状況を把握し、ひとりひとりに寄り添うことが必要だと考えます。

2019年も、元日に街頭から活動スタート！

1月1日、石清尾八幡宮、田村神社、八栗寺の近くで会派ニュースの配布と街頭アピールをおこないました。統一地方選挙に挑戦予定の竹内栄作さんも一緒に、3人での活動。「今年もがんばって！」「いつもニュースレター読んでます。」など、多くの方にお声かけいただきました。2019年、激動の年になると思いますが、自分らしく実直に、頑張りたいと思います。



どう出していますか？

プラスチック包装容器ごみ

～高松市南部クリーンセンターを視察～

6月定例会の一般質問で取り上げた海洋プラスチックごみは、元をたどれば、わたしたちの身の回りで排出されるものです。

南部クリーンセンターに運ばれてきたプラスチック容器包装は、重さで分けられます。次に、**手作業で、汚れの付いたものや、プラスチック容器包装ではないものをレーンから取っていきます**（ゴム製のサンダル、ライター、歯ブラシなどが多い）。

そして、圧縮され、立方体に固められ、リサイクル工場へと出荷されています。ペットボトルの工程も見ましたが、こちらも手作業でした。リサイクル工場では、ラベルが1枚もついていない自治体もありますが、**高松市は約6割のペットボトルはラベルやキャップが外されないまま**だそうです。

この作業を間近で見ると、普段の自分のごみの出し方を再点検しなければならないと思いました。

プラスチック容器包装の出し方の注意点

- 乳白色・半透明ポリ袋に入れて出してください。
- 中身や汚れを取り除けないものは破砕ごみに出してください。
- プラスチック以外のもののできたふたやキャップは破砕ごみに出しましょう。



← 手作業で、汚れのあるものや、分別が間違っているものをレーンから外していきます。

プラスチック容器包装の → 中に混入しているもの。



わたしたちは、生きていくうえでゴミを出さないで生活するのは、ほぼ不可能です。それは、あまりにも便利な生活を求め続けてきた代償とも言えます。

目の前の行動を変えることで、世界の潮流を変えることも不可能ではないはずです。**使い捨てや過剰なプラスチック容器包装を使わない**、わたしも改めて気をつけていこうと思います。

市民派改革ネット 2019年度 予算・政策要望

1. 真の人権尊重都市に
2. 自転車を核としたまちづくり
3. 子どもを取り巻く問題に寄り添った支援を
4. 幼児教育・保育の無償化と保育士不足
5. お金やエネルギーを地域で回す
6. プラスチックごみ削減に向けて
7. 公共施設の今後のあり方
8. 非正規職員の待遇改善
9. すべての補助金見直し
10. 平和政策・自治体外交
11. 自治のチカラを育てる
12. 市民自治政策

3. には、以前議会でも取り上げたヤングケアラーの支援に

ついて、10. では、こどもたちに高松空襲経験者の話を聞く機会を積極的に作ること、などを盛り込みました。

ひとつでも多く実現でき

るよう、提出後もしっかり発言をしていきます。



「広報たかまつ」未配布世帯がさらに増加

12月定例会には、2019年度の広報たかまつ印刷費が議案として出されました。

6月一般質問では「全戸配布を前提に、秋ごろをめどに配布方法の検討をおこなっていく」と市長は明言していましたが…質疑では、印刷予定部数は14万4千部（12月現在18万7千世帯）、想定未配布世帯率は約27%と、昨年度よりさらに2%増えていることが明らかになりました。

市民の「知る権利」はどうなってしまうのでしょうか。今後も全戸配布を丁寧に訴えていきます。

候補者を選ぶ判断材料も 統一地方選での全戸配布は不可能

統一地方選挙（2019年4月実施）での全戸配布を目指していた「選挙公報」も、業者選定などが間に合わず、不可能であることがわかりました。（現在は新聞折り込み）

若年層向けに、選挙ポスター掲示板に、選挙公報にアクセスできるQRコードを掲載などの工夫をすることになりました。

予算・政策要望の当日、ものもらいができて眼帯姿です。トホホ。

お知らせ

3月定例会の議案や議会のこと、普段の生活のことなど、なんでも気軽に話します。👩

みんなとあゆみのおしゃべり会

2月24日(日) 14:00～16:00 会場：太田あゆみ政策事務所

高松市議会 3月定例会

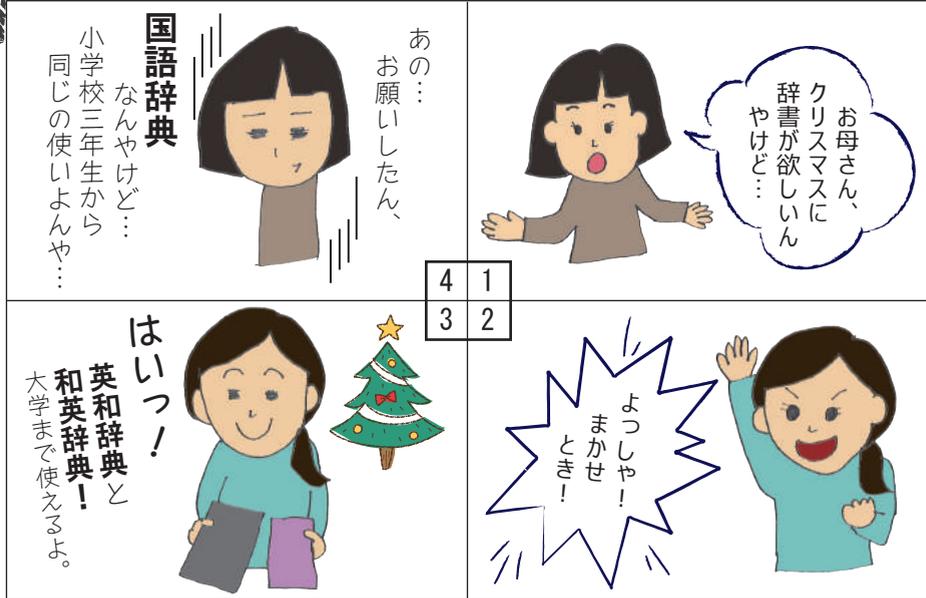
3月4日(月)～25日(月) 予定 😊 ぜひ傍聴にいらしてください!

市民派改革ネット議会報告会

【夜の部】4月4日(木) 18:30～
【昼の部】4月7日(日) 13:30～
※無料、出入り自由、お子様連れOK。

子育て4コマ

かんちがい 作・絵：太田あゆみ



【10月】

2日 市民派改革ネット議会報告会(夜の部) / 3日 「性の多様性」講演会 / 5日 高松第一高等学校生徒と高松市議会議員による意見交換会 / 6日 福岡保育所運動会(来賓) / 8日 市民派改革ネット議会報告会(昼の部) / 9日 決算審査特別委員会傍聴(財政局) / 10日 災害時の議会のあり方に関する議員研修会 / 12日 高松市・ツール市姉妹都市提携30周年記念事業 / 14日 わたしたちの政治と選挙連続講座① / 15日 決算審査特別委員会傍聴(市民政策局) / 24日 国×地方政策研究集会(東京) / 26日 伊方原発再稼働反対高松集会 / 28日 憲法セミナー / 31日 決算審査特別委員会傍聴(病院局)
※「あゆみのあゆみ第19歩」駅頭、街頭配布(16日:片原町・兵庫町、17日:瓦町・フェリー通り、19日:高松築港・田町、25日:三条)

【11月】

5日 決算審査特別委員会傍聴(外局) / 7日 決算審査特別委員会傍聴(総務局、健康福祉局) / 10日 新社会党全国女性党員交流会にて講演 / 11日 わたしたちの政治と選挙連続講座② / 16日 市民との意見交換会 / 19日 高松第一高等学校生徒と高松市議会議員による意見交換会 / 20日 高松市社会福祉大会 / 22日 12月定例会議案説明 / 25日 「女性の政治参画をすすめよう！」パネリスト / 26日 建設消防常任委員会 / 27日 高松市南部クリーンセンター視察 / 30日 「自治体は生活困窮者を救えているか」シンポジウム(大阪)

【12月】

2日 みんなとあゆみのおしゃべり会 / 5～20日 高松市議会 12月定例会 / 4日 2019年度政策・予算要望 / 7日 平和憲法をいかに香川県民の会早朝街宣 / 9日 わたしたちの政治と選挙連続講座③ / 15日 憲法セミナー / 26日 高松市議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会傍聴

■ 報酬の使途を公開します

10月	11月	12月
議員報酬 608,000円	議員報酬 608,000円	議員報酬 608,000円
源泉所得税 42,290円	源泉所得税 42,290円	源泉所得税 42,290円
県市民税 50,000円	県市民税 50,000円	県市民税 50,000円
国民年金 16,290円	国民年金 16,290円	国民年金 16,290円
国民健康保険 94,100円	国民健康保険 94,100円	国民健康保険 94,100円
議員活動費 105,844円	議員活動費 307,524円	議員活動費 39,779円
あゆみのあゆみ印刷代 99,950円	みんなと未来へあゆみ隊へ 30,000円	みんなと未来へあゆみ隊へ 30,000円
みんなと未来へあゆみ隊へ 30,000円	太田生活費・その他活動費 67,796円	太田生活費・その他活動費 335,541円
太田生活費・その他活動費 169,526円		

- 費用弁償(議会出席手当、1日あたり3,000円)は受け取りを拒否しています。
- 12月期期末手当 1,112,640円(うち源泉所得税 231,298円) 当選以降の増額分は受け取りを拒否しています。

■ご意見・ご感想はこちらから → mm_ayumitai@outlook.jp

ひとりでも多くの市民のみなさまに議会や市政の情報をお届けするために、勝手ながらポスト投函させていただいています。また、手配りで配布させていただいていますので、お手元にタイムリーにお届けできない場合があります。ご了承ください。

太田あゆみ(高松市議会議員1期目)

1980年生まれ、38歳
大手前高松高校、大谷大学卒業

- www.ayumirai.com/
- www.facebook.com/ayumi.oota
- @ayumi_step
- @ota_ayumi.tkmt



あとがき

今年は、統一地方選挙と参議院議員選挙が同じ年におこなわれる、12年に一度の年です。

皆さんに、少しでも政治を身近に感じていただけるように、これからもしっかりと情報発信していきます!



どうぞ暖かくしてお過ごしください。